

「ハンドトスのようにバックフリップ」

—初稿—

2026/8/10

〈人物表〉

小宮 翔こみや かける

(19)

マウンテンバイク
MTB のスロープスタイルの選手

檜島 優斗はらしま ゆうと

(30)

宅配ピザ屋「丸バツピザ」のバイトリーダー

木下 浩介きのした こうすけ

(42)

丸バツピザの店長

本多 幹雄ほんだ みきお

(29)

丸バツピザの客

金井 力也かない りきや

(23)

MTB 選手で翔のライバル

1. M T B スロープスタイルの競技会場（昼）

山あいの切り開かれた場所。山肌は大勢の観客で埋め尽くされており、まるで音楽フェスのよう。皆、一点を見上げて声援を送っている。

観客の一人「翔くん、ファイト！！」

視線の先には高台と、一台のM T B。

2. スタート地点の高台（昼）

M T B に跨った小宮翔（19）、手を振って応える。

翔 「……いっちゃいますか」

と、どこか余裕そう。

翔、後方に控える金井力也（23）をチラッと見る。ハンドルにギュツと力を込め、地面を蹴り出す。

3. 走路（昼）

翔のバイク、高台の真下に落下したかと思いきや、そのまま縦に一回転し、鮮やかな着地。

翔、拳を突き上げる。

観客、ドツと沸く。

そのまま軽快に走路へ。一見ただの山道だが、ところどころに段差やジャンプ台など障害物がある。

手始めに小さなジャンプ台に乗り上げ、ほぼ垂直に置かれた壁に沿って走行。大きな歓声。

続いて段差を飛び降り、空中でハンドルをクルッと一回転。そのまま空中で決めポーズ。

次々決まる技に、観客のボルテージも最高潮へ。

金井、その様子を見ている。

最後ジャンプ台に差し掛かり、翔、ニヤッと笑う。

勢い良く進入、どんどん加速し、踏み切り。

思い切りハンドルを振り上げ、ジャンプ。

後方宙返りする翔のバイク。時が止まったかのよう。と、空中でわずかにバランスを崩す。

皆、固唾を飲んで見守る。

着地。よろめくも、なんとか耐える。大きな歓声。

4. 表彰台（昼）

2位の位置に立つ翔。首には銀メダル。
1位の位置には、金井。主催者から首に金メダルを
掛けてもらい、握手。
ふと翔、目が合う。金井、微笑む。
翔、パツと逸らし、パツの悪い顔。

5. 丸バツピザ・外観（夜）

どこにでもあるチェーンの宅配ピザ屋。

6. 丸バツピザ・厨房（夜）

翔 「2位じゃダメなんです」

と、制服姿で乱暴にピザに具材を乗せている。
バイトリーダーの檜島優斗（30）、慣れた手つき
でピザ生地を伸ばしながら、

優斗 「えー、それ久しぶりに聞いた」

翔 「は？」

優斗 「あ、いや、世代じゃないか」

翔 「1位の顔すら知られてないマイナースポーツです。2位
なんて最下位と一緒にですよ」

優斗 「でも翔くん日本で2位なんでしょ？ 十分すごい——」

翔 「点数はほぼ1位と一緒にです」

と、すかさず。

優斗 「……じゃあ何が足りなかったの？ 運？」

翔、言葉に詰まって、

翔 「……まあ、確かに運ゲーっていうか」

店長・木下浩介（42）、やって来て、

浩介 「おい、まだか？ 宅配間に合わないぞ」

優斗 「大丈夫だって店長、翔くんがぶっ飛ばせばいいんだから」

浩介 「これマルゲリータじゃねえか。注文マリナーだぞ？」

翔 「（注文伝票を見て）あ……」

優斗 「翔くんやっちゃったか」

浩介 「急げ急げ！」

優斗、急いで生地を伸ばし、宙に投げる。
生地は華麗に宙を舞う。

7. 丸バツピザ・表（夜）

翔、ピザの入った鞆を背負い、MTBに跨がる。
と、すごい勢いで走り出していく。

8. 大通り（夜）

大渋滞。クラクションの嵐。

翔、ガードレールと車の間を慎重に進むも、車が多
すぎてなかなか前に進まない。スマホで時計を確認。

翔 「うげー」

すぐさま地図アプリで抜け道を検索。諦めて横道へ。

9. 裏路地・人気の無い下り坂（夜）

翔、人気のない裏路地をスーッと走る。一安心。

ふと、下り坂に差し掛かる。どこか走路のジャンプ
台とダブって見える。

辺りに誰もいないのを見て、ニヤッと笑う。

翔 「……いっちょ、やっちゃいますか」

と、ハンドルをギュッと握り、下り坂に向かい加速。
踏み切り。思い切りハンドルを振り上げる。

小さくジャンプ。控えめな後方宙返り。

偶然ベランダで見ていた近所の少年、目を見張る。

そのままドンッと地面に着地。

何事もなかったかのように、走り去っていく。

10. 本多の自宅マンション玄関前（夜）

翔 「（営業スマイルで）お待たせしました。丸バツピザです」

注文した客・本多幹雄（29）、腕時計を確認。

無言でピザを受け取り、翔を見て、ドアを閉める。

翔、真顔に戻って、一息つく。

11. 丸バツピザ・外観（夜）

表には「Closed」の表示。

浩介の声「どうなってんだよ！」

12. 丸バツピザ・厨房（夜）

浩介 「なんでピザの具が全部剥がれちゃってんの！」

翔、反省の色は薄く、

翔 「仕方ないっしょ、急いでたんだから」

浩介 「急いでたってレベルじゃないだろー!!」

と、本多から送られて来たクレーム写真を見せる。

13. 本多の自宅マンション（夜）

テレビゲームに夢中の本多。傍にはピザ。

エビやらイカやらがめちゃくちゃに散っている。

浩介の声「どうやって配達したらこうなるんだよ！」

14. 丸バツピザ・厨房（夜）

浩介 「まさかチャリンコで宙返りでもしたんじゃないだろうな」

翔 「ハハハ、まさか」

優斗、奥でピザ生地を伸ばしていて、

優斗 「店長、なら逆に大丈夫だよ」

と、茶々を飛ばす。

浩介 「あ？」

優斗 「見てて」

と、ピザ生地を輪切りオリーブを一つ乗せ、慣れた手つきで宙に投げる。

綺麗な円形のまま縦に一回転。オリーブは落ちない。

翔、ボケっと見ている。

優斗、ピザをキャッチ。何度も繰り返して見せる。

優斗 「遠心力が均一に働けばさ。ほら」

浩介、あっけに取られ、

浩介 「お前、そんなの練習してどうすんだ……」

優斗 「スタッフのミスは店長のミスだよ」

浩介 「次は無いからな！」

優斗 「ほら、翔くんまかないできてるよ」

翔、オリーブの乗った生地を見て、何か気づいた顔。

優斗 「翔くん？」

翔、まかないピザを箱に詰める。

翔 「俺、今日からまかない、テイクアウトするわ」

15. 人気の無い下り坂（夜）

翔、先ほどの坂道の上に立っている。

ピザの鞆を背負ったまま、下り坂に向かい加速。

踏み切り。思い切りハンドルを振り上げ、ジャンプ。

後方宙返り。ドンっと着地。

と、鞆を開けて、中身のピザを確認。

翔 「散らばってる……」

ペパロニピザのサラミがバラバラになっている。

先ほどの少年、ベランダからその様子を見ると、急

いで部屋に戻る。

16. 人気の無い下り坂（昼）

翔の傍にはいつの間にかあの少年。応援している。

ジャンプ。後方宙返り。ドンっと着地。

箱を開けると、照り焼きピザのチキンがバラバラに。

翔、苦虫を噛んだような顔。首を傾げる。

以下点描で。

別の日、再びジャンプ。

箱を開ける。ハワイアンピザのパイナップルがバラバラに。

翔、坂で少年とピザの箱を使ってイメトレ。

ジャンプ。

箱を開ける。マヨじゃがのジャガイモがバラバラに。

翔、少年とピザを食べながら、頭を抱える。

ジャンプ。

箱を開ける。ナスミートピザのナスがバラバラに。

翔 「あーもー」

と、ヘソを曲げ、走り去る。

少年、一人残される。

17.

丸バツピザ・厨房（夜）

宙を舞うピザ生地。

翔、優斗のピザ捌きをまじまじと見ている。

優斗 「？」

翔、自分でもやってみる。

翔 「ほっ」

しかし、生地は不恰好に飛び、ぐちゃぐちゃに。

優斗 「あらあら」

翔 「……投げるコツとか、あるの？」

優斗 「翔くん、こっちの道に目覚めた？」

翔 「教えてよ！」

優斗、翔に気圧されて、

優斗 「簡単だよ。翔くんは力が入りすぎ」

と、翔の腕を掴んで感覚を教える。

優斗 「投げるんじゃないの、ハンドトスはハンドでトスするんだ。指先でそっと生地を撫でてあげるだけ」

翔、生地を持ってやってみる。

と、生地は綺麗に宙を舞う。

翔 「……できた」

優斗、笑う。

浩介、やってきて、

浩介 「注文来たぞ！ 翔、配達行けるか？」

翔 「……オッケー」

18.

人気の無い下り坂（夜）

坂の上。翔、ギュッとハンドルを握る。

下り坂に向かってどんどん加速。

踏み切り。ハンドルは軽く握るだけのコンパクトなフォームでジャンプ。

大きな後方宙返り。

静かに、流れるように着地。

ベランダから見ていた少年、口をあんぐり。

翔、拳を突き上げ、走り去る。

19. 本多の自宅マンション玄関前（夜）

翔 「（営業スマイルで）お待たせしました。丸バツピザです」

本多、翔の顔を見て、嫌そうな顔。

ピザを受け取り、すぐさま箱を開けて中身を確認。

綺麗に焼き上がった具沢山のデラックスピザ。

本多、翔を見て、ドアを閉める。

翔、笑顔のまま。

20. MTBスロープスタイルの競技会場（昼）

大勢の観客、翔に向かって歓声を送る。

観客に混ざって、親と一緒に少年、声を振り絞り、

少年 「翔くん、ファイト!!」

21. スタート地点の高台（昼）

MTBに跨った翔、手を振って応える。

翔 「……いっちょ、やっちゃいますか」

後方には金井の姿。チラッと見る。

ハンドルにギュッと力を込め、地面を蹴り出す。

（終わり）